京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

定價　本紙一枚金三錢　一ヶ月前金卅五錢　六ヶ月前金

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料　五號活字十七字詰一行一圓　特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西大門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜錄　内外應酬　一記者

南大門外、停車場の南方約一丁の地に中の新地と稱する處あり、殆んど遊廓の觀を呈せしを聞く、然るに京城には公許の遊廓あり、今日の新町遊廓に遊廓を置くもの必要なし、公許無き遊廓存在し其營業を營むなり、而かも其名稱は兎もあれ其存在を事實とすれば吾人は何者か此の存在あらしむるかを怪まざるを得ず。

抑も公娼の置かれたるは、社會の衛生風紀其の他の理由よりして誠に余儀なきに出でたるもの、識者は之れを文明の瑕瑾なりと認むるは今更論ずまでならず、唯忍むで之れを爲さゞるべからざるを最大恨事とし、毒を以て毒を制するの効顯著ならんことを望む所なり、然ども毒を以て毒を制するの効顯著ならずとせば寧ろ公娼許可の必要なしと云ふべし、之れを京城の現狀に見るに、賣笑婦は良民住居の間に散在して盛んに風紀を紊し難事を擧て、加之待合なるものあり、賣淫の媒介容止を爲し、良家の子女を墮落せしめ、甚だしきに至りては有夫の婦に姦淫の機會を與ふることすら敢て珍しからずといふ、若し之れを以て犯す者の罪なりとし、社會を斯の如き狀態に陷く事を以て罪なしといはゞ人間の劣情が能く理性を晦ますを擱み已ひを得ずして毒を以て毒を制するの制を定めたると其意相反す、當局固より此處に見る處あり之れが取締りを勵行しつゝあることならん、吾人亦當局が相賴して惡風の何時か矯正さるべきを想へり、斯く信ずるもの敢て無理なる注文にもあらざるべし、否少しく無理なる注文なりとするも、吾人は此の上中の新地の出現を夢想する能はざりしなり、如聞者彼地は一種の遊廓の如く公許の遊廓と東西に相對して遊客を吸引しつゝありと、勿論或種の料理屋營業と云ふ點に於ては他の魔窟と異なる處なし、然ども一廓を爲せる點に於て確に他と異なるを見る、何となれば廓内に於ては彼等は些の差別を立ず、彼等に取るものゝ亦同り、隨て彼等の營業は一層盛んならしむるを加ふるや論なし、現實前記市中に散在せる魔窟の如く其害毒を流布する事殆者に勝るとの見を以て、估らく彼處に一廓を爲さしめ取締りを便にして遂に撲滅を期するなどの理由にても在らば何ぞ其害多きものを驅つて悉く一廓に收容するの不見識を爲さゞる、吾人は當局が斯の如き營業を默許せるは果して一定の見ありて然るかを疑ふものたり、設し定見無く方針も無くして這個の重大事に臨むが如き狀ならば吾人は文明國の一大恥辱たる公娼の制を廢せよと云はんと欲す、縱ひ之れが爲めに風紀の紊亂黴毒の傳播擴大に激甚なるべしと雖も目前の例く懸痛するを容さず。

雜報　清國陸軍の前途

△完成は前途遼遠

清國政府は近時汲々として軍制の改革に着手し、遂には三十六個師團の新建陸軍を創設するの計畫を立て近くは禁衛軍の編成に着手し今回來朝せられたる戴濤殿下の如き畢竟今後の施設經營に對し參考に資せんとの趣旨より出でられたるものにして若し清國に於て果して豫定の計畫を完成する曉に於ては其勢力は驚く可きもののあるべきも元來清國の軍制たる稅關の如く中央政府に其首腦なく彼の三十六師團の如き之を各省に配當し總督の手に於て創建せしむる筈なれば

▲各省の財政　都合にて完成の時機一定せず現に今日まで師團の編成を完結せしは袁世凱の手に成りたる四個師團と端方、張之洞の創設せし二個師團と其他合計八個師團を數ふるに過ずして他の各省に於ては辛じて一旅團宛の編成を終へたるも是さへ歩兵のみにて其多くは騎砲工輜重兵等の特科隊の設備を缺くを以て全體の兵數を合算せば十七八個師團の建設を見る勘定なるも其兵力に至つては未だ左したる價值を認むるに至らず而して是等既定の計畫を遂行し各省總督が一個師團宛の兵數を有するに至るには第一に注目すべきは

▲財政上の關係　にて種々の事情より綜合し之を察するに今日各省の財政は急に其負擔に堪ふるや否や疑問にて今後の擴張は愚か既設の軍隊を完全に編成することさへ如何と思はるゝ位なれば所謂三十六師團が全部出來揃ふは五年の後か十年の後か一寸見當の付き兼ぬる次第なり假りに財政上の關係なしとするも清國が今日採用せんとする

▲徵兵制度　は果して之を遂行することを得べきや否や是又た一種の疑問に屬すと謂はざるべからず元來徵兵の制度たる戶籍と警察制度との完備と相俟つて始めて完全に行はるゝものにして今日の現狀は未だ其域に達せざるものといふべからず現に南京第九師團に於ては巡捕隊に從來の傭兵を用ふる外全部召募兵に依りて編成せるも其成績は遺憾ながら良好なりと謂ふを得ず又た一方より考ふべきは

▲兵器補給　の問題にて如何に師團の數を增加するも之に伴ふ兵器補給の機關整備せざれば軍隊としての價値を缺くこと無論にて今日清國に於ては武昌と上海との二箇所に兵器製造所あるも是さへ既設師團の需要に應ずる能はざる位なれば今後擴張すべき師團に對し如何に其供給をなすべきや識者を俟たずして容易に判斷し得べき處なり是等の事情より考ふれば清國陸軍完成の期は前途遼遠なりと雖も幸に軍諮處には戴濤殿下を始め有爲の人物を網羅し範を海外列強に仰がんとて汲々たる處なきを以て今後漸次改良の緖に就くべきは想像するに難からずと一將校は語れり

●露國教と在浦韓民

浦鹽斯德在留の韓國人は近來基督教殊に希臘加特力教即ち露國教の洗禮を受くる者多く最近の情報によれば去月中同地パフローフカヤ寺院に於て韓國人男子二百六人に對し露國教の洗式を執行せり而して此等韓人の中にて最も多數なりしは學童にして其命名父は在留韓人の最も重なる者之れが代表者となり受洗者禮後寺院附屬の學校にて僧正エフヒーヴヰー師以下臨席晩餐を共にし僧正の名を以て露國皇帝に向け在韓人は陛下の忠僕たるべきことを誓ふ旨電報を發し尙是等韓人の多數は露國に國籍を有するものなり尙本月中には女子の洗禮を執行すべき筈なりと因に多數の米國宣教師も沿海州に入込み韓人に布敎し信者製造に努力腐心し居れり

俳句

●第十次すみれ集　むら選

題　歌留多、紙鳶、春風、梅、霞（結、嵐羽思燒登南里似空鳳柴有孫納牢男）

秀逸

次の間に餠を燒きぬ歌留多會　笹波
相思ふ人敵にせし歌留多哉　四樂
奪はれた歌留多に嫂の亂髮哉　月哉
世話燒の歌留多讀べく來ぬ兒　玉糸
柴賣つて孫に土產や奴紙鳶　秋花
越の紙鳶奧の中空に唸り兒　月哉
掛け賭の凧揚場所と成に兒　笹波
數入を紙鳶に半日暮しけり　秋花
眼の光る凧に剪れ兒鳥一羽　月哉
○奉納の手ふき斬らし春の風　四樂
◎柴垣にかもじ搖るや春の風　月哉

日本銘刀傳

第八十九席　法城寺正弘（十一）　邑井一講演

其のうちに月滿ちて產があつたが、今度は二度目だから、手も掛かるまひと思ひきや、恐ろしい重い產で、產婆が云ふには、何うしても女の子と違ひまして、男の子となると少しは產婆さんも骨が折れるからさ云つて居る、さうかと思つて居ても、重過ぎて大層困しむので、近所の人も心配して甲『アノ婆さん一人では危險だから、又他に上手な產婆もあるまいか』と一人が云へば二人三人、聖天町にも一人上手な產婆さんが居ると云ふから……と直ぐに驅出して賴みに往くと、昔の產婆なんと云ふものは、仲々面倒臭いことを云つたもので、誰殿が手を掛けたのを私が今更參りましてはなんとグズ／＼云ふのを無理に賴んで來て、連れて來て見ると、先の婆さんと見立が違つて是れはまだ產の氣はないのですが、何か心配をなすつたのが熱になつて、其の熱のために腹の中の子が死んで、更に下りることになつたのです、との見立て、夫れちやれ醫者樣の手を借りなければ往くまいと、其の近邊で巧者だと風說のある先生を賴んで來て、醫者が來て見ると、產婦の傍に寢て居る半太郞を診察をしやうとするからイヽエ先生此方が先きなんですと云ふやうな上を下への騷動、結局二度目の產婆さんの言ふことが當つて、死んだ男の子が生れました、產婦に聞かせなくつても宜いのに、何分人が多いから、一寸云ふ奴が直ぐ產婦に聞こゑる、又產婦の方でも、產れた子が泣かないから、死んだらう位なことは知つても居ませうが、愈々死んだと極つたので、猶更に落膽して病氣となる、幾三郞も是れが心配の種となつて病氣となる、さア是れ迄はトン／＼拍子で、先づ好いてとのみ續いて往つて、人間並に世を渡つて來たが、一つ缺くて又ドン／＼拍子に惡るいことが、續いて遣つて來るもので、何うも人間と云ふ者は、少し困難のことが續くと、モウ落膽してしまつて、自から失意の境に沈むものが多い、其の難局に打勝つてこそ、初めて器量人とでも云うのであらうが、仲々さうは往かぬ者だ、幾三郞も世の中の火宅に生れて、初めて斯う言ふ難局に出遇つたのだから、何うして宜いか分らない、肝腎の相談をしやうと云ふ女房が大病だし、次郞兵衞はモウ死んで居ず、賴りにする人が居ない、其のうちに家も樂臭くなつて來ると、女房は段々と顏少なくなつて來ると云ふ始末、自由になるなら半太郞かお勝が代つて與れゝば宜いのだが、さうは往かずと幾三郞の遣憾、到頭可憫想にお勝は死んでしまひ、病氣を推しての野邊送り、七日／＼の吊ひで猶更病氣は重くなつて、幾三郞も枕の上らぬことになりました、姉のおみつはもう十三才、お勝に代つて勝手働き、世帶の苦勞をして見れば、金錢に不自由であると云ふことが知れて來る、其のうちに幾三郞の病氣は大きに快方に赴いて來たけれど、困ることには問屋へ仕切の擱ひがしてないから、品物を送つて與れない、前の澤から渡はなければ、元の通りの店の恢復が出來ない、何うしたら宜からうかと、幾三郞の獨言を聞いておみつは金の才覺に氣を揉んで居ります、妹のおむらは九才のことで、此れは唯母を失亡ひましてより以來、親父の病氣の一日も早く全快をするやうにと、袖摺稻荷へ日參して、百度のさしを投げて歸るのは、家の者さへ知らぬ程でありましたが、或る夜人の寢靜まるのを待つて、例の如く田町の袖摺稻荷へお百度を踏みに出掛けましたが、恰度十二月の初旬で、寒風强く、一生懸命に袖摺稻荷の方へ向つて驅て行くと、何う見誤まつたのか、犬が一疋出て來て吼付きました、一犬虛に吼へ萬犬實を傳ふるとやら申しまして何處から出て來たか、數十疋の犬がおむらの前後を取卷いて、飛掛らんやうに吼へますので、流石に九歲の娘ッ子であるから、何うも是れを追拂ふと云ふ手段がありませんので、自分も泣き犬も嗜くと云ふ騷ぎになりましたが、折柄此處に忍び姿の侍士が一人通り掛りましたが、此の有樣を見るや、否や、刀を拔いて胸打に三四疋を打ちましたから、犬も不意を討たれて驚いた。

東京電報

▲**櫻田烈士の祭典** 本日愛宕神社に於て櫻田烈士五十年祭を舉行す參拜者數萬人に達し非常なる盛儀なりき(十二日)

▲**伏見若宮の消息** 伏見若宮同妃兩殿下には九日鹿部に着し御滯在中なるが十四五日頃御歸京の御豫定なる旨其筋へ通報ありたり(十三日)

▲**德川議長の出發** 外遊の途に上るべき貴族院議長德川家達公は明日出發すべし(同上)

▲**隈伯の論文起章** 世界唯一の日刊經濟新聞倫敦フイナンシャルダリユーの囑託を受け大隈伯爵は一大論文を起草中なるが右は政治的のみならず經濟的に日英同盟の必要なる事を論ぜらるべし(同上)

▲**松永中將の渡韓** 今回駐韓第六師團と交替せる第二師團長男爵松永中將は師團長會議終了したるを以て今十三日先づ仙台に歸り來る十九日渡韓す(同上)

▲**師團長會議の終了** 連日陸軍省會議室に於て開會中なりし師團長會議は昨十二日を以て終了今十三日各師團長は千葉縣新濱御獵場に於て鴨獵仰付られたり(同上)

▲**清觀光團の歡迎** 東洋協會會頭桂侯は近々清國觀光團歡迎會を開くべし(同上)

▲**曾禰統監の病狀** 曾禰統監は片瀨に靜養後漸次快復に向ひつゝありしに本月に入り病勢甚だ惡しく更に三四日前迄では殆んど晝夜就眠する能はざる狀態にありしが昨今又々快方に向へり(同上)

▲**錫總督と觀光團** 本邦觀光の途に就きたる清國觀光團に對し錫東三省總督は多大の注意を拂ひ各種の觀察は勿論名古屋共進會には最も重を置き一行に少なくとも一週間滯在して觀察を爲すべき旨內訓を發せりと(同上)

▲**新造軍艦の工程** 橫須賀海軍工廠に於て建造中なる軍艦河內は本年末進水式を行ふ事となるべく又鞍馬も本年中完成すべく安藝は本年中完成の豫定なるが或は明年に入ることゝなるやも計られず(同上)

▲**家畜市場法の實施** 農商務省は愈明年一月より實施する筈にて目下細則制定中なるが最近の調査に係る家畜市場中常設市場は甚だ僅少にて例年定期又は臨時市場を開設するもの頗る多く從つて取締方法頗る困難なるべし而して現在家畜市場總數は常設七十五ヶ所定期及臨時市場二千六百十六にして全市場一ヶ年の賣買額約二千萬圓に達す(同上)

▲**競馬會社の新設** 現存池上、川崎、目黑、板橋の四競馬會社を解散して一大競馬會社を設立するの計畫成立し現在の會社に對する代償金六十一萬圓は之れを二箇年間に償還を爲し新設競馬會社は之れを東京競馬倶樂部と命名し民法上の社團法人と爲す事に決定したり(同上)

▲**借換公債の發行** 政府は四分利付第三回借換公債一億二千萬圓發行に內定五月上旬發表の筈

▲**霧島神社宮司任命** 陸軍中將大久保利貞氏は官幣大社霧島神社宮司被仰付たり(同上)

▲**押川次官の九州行** 押川農商務次官は來る二十三日東京出發二十五日鹿兒島に赴き製材所を視察し三十日福岡共進會の褒賞授與式に臨席すべし(同上)

▲**稅關長拜謁被仰付** 稅關長會議參列の爲め上京中の各稅關長は來十六日午前十時參內 天皇陛下に拜謁仰付らるゝ筈(同上)

北京電報

▲**革命黨の大檢擧** 清國政府は爆裂彈發見後今尙ほ戒嚴令を施行し居れり尙ほ南清地方に存立する革命黨の大檢擧に着手せり(同上)

歐洲電報

▲**西比利亞鐵道の竣工期** 西比利亞鐵道工事は來る四十七年を以て竣工全通するに至るべく現今にては單線を通じ二十列車を運轉し得るとして之を軍事上より見れば一軍團を極東に輸送するに約十日間を要するも若し全部複線開通するに於ては五十列車を運轉するを得べく其の結果三日乃至四日間にして步兵二箇師團騎兵一箇師團より成る一軍團を輸送し得るに至るべし(十三日)

▲**露國の極東增兵** 露國は今回極東に兵力を增加するに決定し沿海州ニコライスク黑龍江省グラゴエチエンスク及ザバイガル州滿國との國境たる滿洲里等に各一軍乃至二軍團を常置すべし(同上)

▲**ル氏の伯林到着** 米國前大統領ルーズベルト氏は五月十日伯林に到着皇帝を訪問すべし(同)

▲**墺帝のル氏歡待** 墺國皇帝フランツヂヨセフ陛下には米國前大統領ルーズベルト氏を國王の禮を以て待遇する事に決せり(同上)

雜錄

統監邸の歡迎會

十二日午後七時半統監官邸に於て米國富豪ロビンソン氏一行の招待會を催せり石塚長官は統監に代りて挨拶したる後ロ氏起立して豫期以上の歡待を謝する旨を述べたり撤宴後別室に於て餘興の吉野山手踊及軍樂隊の假裝ダンスあり主客十二分の歡を盡して十時頃散會に當り西洋人の來賓には一々國旗花傘扇子等の贈物を臨席者に手渡しせしめたるに何れも非常に喜悅の意を表したりと付はロ氏夫妻及子息は始めて日本の踊を見たりとて其の艷美なるを嘆賞せりと云ふ

第二艦隊の拔錨

仁川に碇泊中の第二艦隊旗艦八雲及び見島、沖島、淀の四隻は十四日午前九時同港拔錨鎭南浦を經て旅順に至り其より渤海灣を經て佐世保に歸航する豫定なりと云ふ

●**邦人郡主事の將來** 內部は地方行政機關の刷振を計らん爲め本年度豫算に郡主事百名增員の豫算を要求せしが查定の結果半箇年分百名に削減せられたるを以て實際は五十名の豫算を計上し得たる譯なり而して此豫算に基き今回日本人より四十八名當地より二名採用すべく決し本月中には夫れ〳〵任命せらる可き由なるが日本より聘用の郡主事は孰れも履歷及知人等に就き資格を詮衡し所謂一粒選の結果なれば自然現職郡長殆んど其全部を占むるの好成績を得たり何が故に郡長の榮職を棄てゝ韓政府の判任主事を希望するか之を尋ぬるに日韓關係の現狀は近き將來に於て必ず打破せらる可きを期待し投機的囑望の下に仕官を希望するもの尠からざるが如しと一方又韓政府に於ても地方行政の振興を計らんには先づ有爲の人材を網羅するの急務なるを認め居れば早晚邦人郡守任用の機會到達すべきも其方針に就ては天機洩すべからずと云ふ

●**船舶檢查地の指定** 船舶檢查法第三條の規定に依り指定さるべき船舶檢查の執行地は統監府及韓國側共に新義州、群山、木浦、馬山、城津及淸津を指定したるが統監府側に於ては以上の外鎭南浦と元山の二港を指定し是等執行地に於ける檢查は一年一回若くは二回地方の現狀を參酌して一定の時期を定め之れを行ふ筈なるが韓國側に於ては鎭南浦及元山は稅關所在地なるを以て法律の規定に依り常時檢查を執行すべきも未だ機關の整頓せざるものあるを以て當分帆船及び小蒸氣船のみの檢査に止め大形汽船の檢査に就てはなるべく釜山若くば仁川に廻航して檢查を申請すべしと云ふ

●**新政黨組織の行惱** 近き頃李甲、鄭雲復、崔錫夏等が新政黨を組織せんと奔走中鄭雲復は一身の都合上直接其衝に當る能はざる事情を生じ李甲と崔錫夏二人主として運動したるが資金五千圓を或所より引出し其內千圓は崔錫夏が私消し殘は幾分を運動費に費したるも大部分は某銀行へ李甲の名儀にて預け置きたる所過般李甲が崔錫夏の知らぬ間に該金を銀行より引出して持ち行きたる由にて崔錫夏は甚大に驚き百方手を盡したるも所在不明くなりて此事を同志に語りたれば一同なれば今は政黨組織は別問題として李甲の處分問題に腐心しつゝありと云ふ

●**道郡主事配置順序** 近々任命さるべき郡主事の配置方に就ては地域の狀況と必要の緩急に應じて適宜之を定むる由なるが先づ主として日韓行政事務の密接せる地方に重きを置き次ぎは交通要衝の地一般事務の繁劇産業上必要の箇所等を査察し之に準じて配置數を增減按排すべく方針なりと尙ほ道主事も現在七十八名あるが今回增聘の結果百四名となり一道平均八名なるも右方針に基き配置するを以て多きは十名少きは六名なりと

●**岡次官と道書記官** 目下東上中の岡內部次官は本月末日までには歸任すべき由なるが滯在遲延の主たる用務は地方行政機關の變更打合せ根本問題に屬するを以て廟議の解決を仰ぐのみ檢者に就ては內地新聞中往々希望者絕無の爲め人撰難を傳ゆるものなるも別項郡主事の如く有爲の適材雲の如く集來し寧ろ少數人撰難より多數謝絕に困難するの狀なる由

●**金融組合諮問事項** 來る十五日より度支部に於て開催すべき各地金融組合會議に於て諮問さるべき事項左の如し

第一 資金貸付に關する件
第二 貸付擔保に關する件
第三 組合副業に關する件
第四 其他に關する雜件

尙農工銀行よりは同會議に對し農銀との連絡可否、農銀と組合の技師、技手間の連絡可否等に就き諮問事項を提出したりと

●**地方土木事業完成** 本年度に於て各道を通し地方費中に計上したる土木費を以て土木事業を執行せしむる爲め觀察道の大なるものには二人、小なるものには一人の技手を配置すべきも猶ほ土木行政を掌るべき機關なきに依り國費を以て各道に一名の土木主事を置き以て地方土木事業の完成を期すべしと尙ほ種苗場養蠶傳習所の如き產業獎勵の爲め勸業主事をも置く筈なりと

●**土木主事地方配置** 內部は國道の改修と共に地方道所管道路の完備にも注意を拂ひ現に本年度地方費豫算には之が費用と技手人員とを計上せるが更に國費支辨を以て土木主事を任用し彼は執行の衝に方らしめ計劃方面に專ら參酌せしめ中央地方の統一を計るべしと云ふ

●**旅客定員の制限令** 汽船に搭載すべき旅客の定員は各船毎に定員を定めて此制限を超過すること能はざれども軍隊又は移住民の如き一時に多數の人員を廻航する場合の如きは除外例を置くの必要あるゆへ關稅局にては目下其方法に就き調査中なりと

經濟小言

ツイ此頃群山の藤木と云ふ人と東拓會社との間に土地買入に就て大競爭があつた、藤木と云ふ人は一商人ではあるが何で東拓なぞに負けるものかと何萬と云ふ金を一時間內に作り遂に勝を占めたツーだ。堂々たる東拓會社が何が氣は一藤木某と土地買入に就て競爭するまでに到つたかは記者の知らぬところであるが總ての理屈は拔として記者は勝つた藤木某も負けた東拓も其爲せし所實は愚の骨頂を爲する、何となれば競爭は自然に土地の交換價格を高め鷸蚌の爭は獨り漁夫をして利を專にせしむるからだ。さなきだに韓人土地所有者は邦人の足許に附込み方外の値段を貪らんと待構へ居る今日邦人同士が競爭すればツレ見た事かと韓人が乘じて來ると思ふに各個人も東拓も今後土地を買入ねばなるまい、而してツレを買入るるに就ては互に方外の値段を出すの不利益を避けねばなるまい。東拓會社にして記者の言に聞き各個人にして記者の言に聞くとならば記者は謹んで兩者に向かつて不利益を避くるの方法を敎へて遣ずる。東拓及各個人諸君虛心平氣記者の言を聽くの雅量ありや否。

●**米國事招宴中止** 十三日の米國領事館主催ロビンソン氏一行歡迎の晚餐會はロ氏夫人病氣の爲め全然之れを中止せられたりと云ふ

●**仁川商校新入生** 仁川民團立商業學校第一學年新入生は本科廿四名專科十七名にして專科二年生入學者は一名

●**女學校敎諭任命** 東京高等師範出身佐原とみ子は仁川高女敎諭に就任す

●**探檢旅行の延期** 地方部員主催の南韓山探檢旅行は都合ありて延期せり

●**敍任辭令** 左の通り辭令ありたり

任統監府中學校敎諭六級俸下賜 休職宮城縣立宮城師範學校敎諭 下田禮佐
任關稅局技師 木下重鋪
海軍に關する事務を囑託す(統監府)

遊廓問題眞相(續)

(本社龍山支局報)

大久保龍山民長曰く、予は遊廓經營者の地域擴張出願に接し其の許否を裁決するの權能なしと雖ども理事官に對し事の可否を副申すべき位置に在るを以て先づ龍山の現狀に鑑み總て必要なる條件を稽へて具さに其利害得失を考量し最後に遊廓及其擴張豫定地內に於ける料理屋業者の營業狀態を參酌して擴張を可とするの意見を定め而して議案として此の件を民會に提出したるに民會にては調查委員を設け之れに附托せしが委員調查の結果は又予と見を同ふせり斯くて予は民會を召集し委員調查の結果を以て附議せんとせしに其前日の予は勸農會社專務取締役原勝一氏より電話にて此の件に關し會見の申込みを受けしが其の際遊廓經營者畑彌右衛門氏も亦原氏の宅に來會せる旨を告げられたるに依り予は直に原氏の宅を訪ひ兩氏の言に依り初めて畑氏が其經營せる桃山遊廓を擔保として勸農會社に債務を負へることを知りたり而して遊廓地擴張の請願は畑氏が債權者たる勸農會社の同意を得ずして之れを提出したりとて勸農會社は此の事を以て自己の債權を毀けるものとして甚だ悍ばず原氏は予に向つて畑氏との交渉落着するまで民會の決議を延期せんことを求めたり此に於て予は當事者間の意思疏通するを待ちて事を決するを穩當なりと思考し畑氏に異存なきを確め民會の開會を延期したり

敍上は民長が親しく記者に語りたる處なるが尙記者は民長が勸農會社の債權を保護するは可なり然れども畑の出願に對し可否の意見を理事官に副申すべき位置に任るは自ら言ふ處の如し而かも可否の決は龍山民團の利害を稽查すれば卽ち足る勸農會社對畑の權限に關する顧慮の如きは強ちに無用の業とせざるも之れが爲めに既に日を定めて召集の通牒を發したる民會を延期せしは果して妥當の措置とすべき乎各議員は固より如何なる事件の發生したるかを知りたらんも議案は撤回せられたるに非らず依然として民團の利害と共に彼等の頭上に懸れるに非らずや況んや延期の理由が一會社と畑との私關係に直接債權を害ふにあらずして債權者が遊廓なるが爲めに金を貸したりといふ所謂『思はく』が外れるといふに過ぎざる事たるに於て民長は民會の威信を尊重せりと斷言し得るやと問ひしに民長は默りと答へ且つ曰く予は此の件の圓滿なる解決を見ん事を欲するのみと

附記 道途傳ふらく大久保龍山民長は往年現勸農會社專務取締役原勝一氏が山口縣警部長の職に在りし時其部下の警部たりしことありしと 尙記者は去八日の民會に於て決議延期の動議を提出したる林武之進氏を訪ひ其意見を叩き明日の紙上に報道せんと欲す氏は大久保氏が山口縣某郡長たりし時其郡內の一村に收入役たりしと云

●**廣梁灣と支那苦力** 廣梁天日鹽田土工用に要する本年の役夫は約七八千人の大多數に上る筈にて內三千人の淸國勞働者は志岐組の手に據り募入さるべく內八百人は既に本月內には千人に充つべき手筈なるも既着八百人中四百九十人は勞銀の不平より逃亡するに到り確定工事上支障なからず殊に昨年の例もあり私に前途を憂ふる者もあるが暴發するに官辭不通より相互間の意思疏通せざるより事多きに基因すとの斷定より相當通譯を增員すると同時警察取締上從來の巡查のみにては到底取締就かざるにより相當警察機關をも增設さるべき由也

●**御用紙と債權者會** 御用紙京城日報は統監府の厚き補助を受けつゝあるを以て當地新聞業者中財政最も豐かなるべき筈なるが大岡氏同社引受以來如何なる故にや多大の負債を作れり、右整理に關する用事に託し曩には大岡社長後ち此大木營業主任東上して今日に到るも歸らず現社に於ては同社中責任を以て債權者に應對するものさへ無き有樣なるを以て各債權者は殆んど途方に暮れ近日債權者會議を開て統監府に迫ることゝなしたりと傳らる

●**善隣商業授業開始** 今回善隣商業學校にては夜學專修科に高等科を設置し國語漢文數學等普通學科の外簿記商業法律經濟英語に付三科目を撰擇せしめ每夜午後七時より三時間づゝ敎授する趣きにて既に諸般の設備を終り來る十八日より授業を開始すると云ふ尙入學資格は同校從學專修科卒業又はこれと同等の學力を有するもの〻由にて五十名を限り入學を許可すべきにより志願者は來る十七日迄に出願すべしと云ふ

●**北韓學藝品展覽會** 咸鏡北道咸興普通學校主催となり三月三十一日より四月二日迄三日間各學校聯合學藝品展覽會を開催せしが觀覽者は日々二千乃至三千の多きに達して頗る盛況を極め元來好奇心に富める一般韓人に好箇の印象を與へたりと

●**第二艦隊の招待會** 第二艦隊司令長官島村中將は十三日正午より旗艦八雲に石塚長官事務取扱以下京仁間の重なる文武官を招待して午餐會を開き午後二時三十分よりは百數十名の在仁官民を同艦に招きて茶話會を催ふしたりと

●**合併と龍山側委員** 京龍合併問題に關し龍山側よりは事件の折衝に當るべき委員五名を選出したることは既報を經しが右の委員等は昨十三日午後七時より龍山民團役所に會合し時事を協議する處ありたりと云ふ

●**米領事館の茶話會** 十三日午後四時より六時迄米國領事館にてロ氏一行の爲茶話會を催せり招待を受けたるはロ氏一行の外當地の重立たる外人數項觀察會に列席せし人々也

●**石塚長官等仁川行** 石塚長官、石井少將は十三日午前十時發の汽車にて仁川に赴き第二艦隊午餐會に列席し同日夕刻歸京せられたり

●**岩佐部長南韓視察** 東拓金融部長岩佐理藏氏は金融狀況視察の爲め十四日出發群山、釜山、木浦、大邱等を巡視する筈なりと云ふ

●**鈴木司稅局長歸任** 平壤鎭南浦及廣梁灣方面に出張中の鈴木司稅局長は今夜歸任の筈なりといふ

●**小川事務官歸期** 共進會事務を帶び東上中の農商工部事務官小川鶴次氏は來る十七日頃歸韓する筈なりと云ふ

●**永田龜昌氏入京** 東京府會議員の同氏は十二日大阪より入京淸尾旅館投宿す

●**澁澤秀富氏入京** 平安南道警察部長の同氏は十二日入京巴城館に投宿す

▲治外法權▼

東拓會社は又々總會を東京で開くそうだ、韓國政府の如き大株主も韓國にあり且つ本社所在地たるに不拘何が故に之れを東京で開くのか、甚だ怪訝に堪へないのである▲ルーズベルト氏は愈々十五日伯林を訪問し獨帝と會見するそうだ、羅馬法皇の會見を拒絕して異彩を發揮した氏がカイゼルとの會見は實に舉天下の注目する處である▲ル氏の傳ふと同時に思ひ出すは我大隈伯である、伯は今回倫敦の某大新聞から論文起草の囑託を受け目下起稿中であるそうだ▲ル氏と云ひ伯と云ひ所謂潰しの利く連中は世界何れの處にも國境なく自由に流通する、大小の相違は是非なきも國家は潰しの利く人物を養成するに努めねばならぬ▲一時休職を噂傳せられた鐵道の岡正矣氏は愈々總裁官房に榮轉することゝなつた、氏は古い洋行者で日鐵の技手から累進して遂に今日となつた異數の昇進をした人である、曾我子爵の部下であつた丈に何處か變つた處がある、それに經驗と實物に就ては現鐵道院中に君程詳しき者はないそうだ

名妓洗髪のお妻(七)

▽忘られぬ貴雄の言葉 ▽愈々烏森の桝田屋から

[illegible]入間ぢやない、れ前を喰物にするかも知れんよ鏡を見るやうな商賣になるのが、れつぎ師の事かも知んよと眼に涙を溜て染み〳〵と云ましたが、其折は何とも思ひもしませんでしたものゝ考ると言ひ當てられたので、今ぢや空恐ろしいやうな氣持も致しますし、貴雄の最後の言葉が今に耳に殘て居るやうに思はれてなりませんわ▲切迫詰つて藝者になると云つたものゝ、何んで好き好んで泥水稼業なんか爲たいものがありますものですかね、時の機でフイと云つて了つたので藝者になると直から思つてゐるのぢやありませんから、ツイ其儘グズ〳〵してゐましたが、れよねの方は其んな手緩い事で承知してゐませんわ、一生懸命血眼になつて騒いでゐましたのも道理で、たよねの腹ぢやもう〳〵ズッと前から私等姉妹で樂に暮して行かうと極めてゐましたのでせう、現に亭主の弘さんが其法な人で、應んな曲つたれよねの爲るやうな事が嫌なのですから、自然叱言をいふ、言はれて見ればれよねだつて弘さんが煩いものですから、貴雄から私を引取つてといふものは、妹のます一人ぢや心細かつたのが姉妹ともれよねの罠に罹つて羽撥きの取れぬ事にして了つたものですから、れよねの氣は急に強くなつたのでせう弘さんに其んなに阿方が口喧しく云ふならば、私も何も阿方と一緒に暮してゐるがものは無い、阿方と分れたら他人ですもの、文句はありますまい、宜しい分れませう、私は私であの子等を此處まで世話して來たのですから、姉妹に頼つて何うともして暮して行きませうと云つた儘、遂々弘さんと分れて了つたのですが、隨分思切つた事をしたものなの、其處までれよねは腹を極めてゐるだけ、私等姉妹は益々深水へ陷つて來た譯でした、分れると同時に、小田から私の籍を取つて國の安達家へ送つて了ひましたので、私は今でも安達つぎなんですよ▲さあ愈々藝者[illegible]烏森の桝田屋[illegible]當時桝田屋は今の烏森の旅館吾妻館の處にゐたのです。

李在明起訴さる(續)

▽李總理大臣を刺せし ▽連累者十三名に及ぶ ▽公判開廷期日は未定

依て被告吳復元朴來殷李應三の三名をして兇行の實行に要する資金調達の任に當らしめ被告金來善には兇行の用に供すべき短銃をば被告趙昌鎬と協力して他より借り入れ京城に運搬すべき任を分擔せしむる事となしたり被告李在明は斯くの如く各其部署を定め一切の準備整ひたるを以て十二月十二三日頃再び上京し南部笠井洞白召史方に止宿し被告金龍文にも李完用李容九の兩名を同時に殺害する事に決定したる旨を告げたる處同人も直ちに其意見に賛成し李容九氏宅の所在を指示し尚ほ李完用の動靜を探知して通知すべき任に當る事を承諾したり尚ほ被告李在明は其の頃慶尚南道東萊府沙中面草梁に居住したる被告金丙錄とは米國以來の親友にして同人も常に國事を慨慨し居りたるを以て今回の同志者に加入せしむる目的にて書面を發送して上京を促がしたるより同人は十二月中旬頃急遽上京したり依て同人に對しては單に李完用殺害の陰謀に關する事實を告げて兇行の實行に助力すべき事を勸誘したる處被告金丙錄は直ちに之れを承諾し屢々會合して兇行を實行する方法其の他の準備に付密議を凝らし居る中に被告金貞益李東秀金泰善等も上京したるを以て先づ最初に護衛の嚴重なる李完用を殺害し引續き李容九をも殺害する事に方略を定め時機を窺ひ居たる處明治四十二年十二月二十二日早朝に至り李在明は同日午前十一時頃李完用が白耳義帝の追悼式に參列する爲めに京城明治町佛國西教會堂に赴くべき事を知り好機逸すべからずとなし被告李東秀と共に各短銃及短刀を携へ同教會堂の門前に待受け李完用が追悼式を畢り門前にて人力車に乘りて今や將に歸路に就かんとする際被告李在明は突然路傍より[illegible]完用の車夫朴元文が李完用の危急を救はんが爲めに兇行を阻止せんとしたるにより携へ居りたる短刀にて直ちに朴元文の左背部を刺し刀尖左肺を穿通したる爲め同人は即死したるものなり

一被告金龍文李學泌は明治四十二年十一月下旬頃被告趙昌鎬より内閣總理大臣李完用一進會々長李容九等を殺害する爲めに兇行の用に供すべき短銃の借入方を斡旋する依頼を受けて之を承諾し被告金履烝に其の旨を通し金履烝の親族なる李國林より短銃一挺を提供せしめ該短銃は兇行の當時被告李在明が現に所持し居たるものなり而して李學泌は逃走して未だ縛に就かず

一被告金[illegible]陰謀の情を知りな[illegible]より短銃を借り受け[illegible]交付したるもの也

[illegible]の發覺を知りて逃走し未だ縛に就かず

一被告李在明は[illegible]

女振

待井三郎氏夫人 待井まさ子

敢て說明する迄も[illegible]は京城古市町に[illegible]人である、夫人[illegible]里福岡縣早良郡[illegible]僅か二十八の女[illegible]郎氏は外交方面[illegible]使傭人なんぞの[illegible]かね、從つて此[illegible]子夫人の督勵に[illegible]二を頭に未だ生[illegible]たず赤兒でも[illegible]には普通大概の[illegible]の世話丈けでも[illegible]夫れも切めて男[illegible]は面倒を分けて[illegible]里の本家に居ら[illegible]を見に入來る[illegible]切萬事他人相手[illegible]ならぬのだもの[illegible]交の發展から更[illegible]くないに於てれ[illegible]何日にニコ〳〵[illegible]麗にして而して[illegible]れに見るの實夫[illegible]女學校の出身[illegible]だそうな

牛殺しと車夫の闘争

▽役人と穢多と酌婦と

[illegible]の山遊が原因……[illegible]阿峴屠殺場員一同[illegible]韓人白丁(穢多)[illegible]の殺生の罪亡ぼしに[illegible]んものと南大門外[illegible]のうま煮やら豚の[illegible]やそれ手のものを取[illegible]呼き破り思切つての[illegible]が是より先き其前夜[illegible]小門通りの日之出樓[illegible]閣樓の酌婦たゆきを[illegible]きぬの四名を呼[illegible]日頃温突の溜閉き[illegible]部の洗濯こんな有り[illegible]あるか知らんと早朝[illegible]太平町築地組の車夫[illegible]人)を雇ひ後れ馳せ[illegible]役人、白丁、酌婦、[illegible]なり呑む、喰ふ、唄[illegible]間れ擲ひとなり例の[illegible]り青坡街道を西小門[illegible]るの底拔け騷ぎを演[illegible]通に掛からんとせし[illegible]た事とて覺束なき足[illegible]戻りつ危ふげなるを[illegible]けて前へ押すかと思[illegible]の韓人穢多組の一人[illegible]と車上の一酌婦に接[illegible]が之を見たる他の車[illegible]引戻しイルボンカル[illegible]ツレ、イルボンサラ[illegible]に四人の車夫を袋叩[illegible]人の酌婦は空車を挽[illegible]る處を西部署より驅[illegible]退散せしめ主謀者の[illegible]し說諭の上放還した[illegible]んだ騷動を演じたる

黄海道の大火災

▽燒失家屋二百餘戸

平壤憲兵分隊載寧管區長よりの電報に據れば去る十一日午前十一時頃黄海道安岳(載寧を去る西北四里の地點)に於て出火あり二百余戸を燒拂ひ午後四時に至りて漸く鎭火す一時は非常なる騷擾をなしたるが原因は目下取調中にて不明なり

惡番頭の醜行爲

▽御主人の注意が肝要

當京城に於ける各商店の店員番頭輩が主人の目を眩まして新町や淫賣屋に入り浸り不義の快樂に耽ると云ふ事は既に公然の事なるが茲に本町三丁目の某唐物屋の番頭某は本町七丁目の小料理屋某樓の酌婦小菊に總け返り勘定して見るも今日迄に既に九十八度も通ひ居れりと云へば摑み出した店の金の額も莫大なるものならんと評判專らなり

●外人淫賣屋の亂暴

▽敵方を空銃で狙ふ

十一日午後六時頃西小門迎り白人淫賣屋に於て麥酒代の高い廉いより小問着を初めた末携帶せる空銃を威喝に淫賣婦に差し向けたる邦人あり敵娼は夫れと知らねば驚たるゝてとゝ狼狽し悲鳴を擧げて助けを呼びたるにぞ夫れと見たる其家の主人及びコックの二外人は大切の飯櫃を鬼や鴨と同樣射ち殺されて堪るものかと矢庭に躍り籠つて引き摺り倒し打つ蹴るの大騷動「串戯なのだ〳〵」と叫ぶ邦人の聲は耳にも入れず愈々猛り狂ふ二外人の手の下潜りて右と左に引き分けたるは西部署の韓人巡査其の取り調べたる所に依れば此の助平にして而して吝に加ふるに間拔けたる更に不埒の日本人と云ふは靜岡縣生の大畑金五郎と云ひ元光州財務監督局雇員にして今は漢城財務監督局主事某の情に依り出張先の事務補助をなし居れるものと判明したるが同人道迴の出京は恩人主事某の妻君を迎へんが爲めの使としてなるに其の方は跡回しなるのみか妻君に取次ぐべき旅費をかすつて飛び込んだ白人淫賣屋の出來事が以上の如し

●船夫の妻子溺死

仁川港花房

町二丁目四番地山下商店竹有の帆船第二朝日丸乘組船夫原籍廣島縣佐伯郡鹿川村平民余本芳松(三〇)は去る九日龍山より米大豆等を滿載し仁川に歸航中金浦郡石関面雲陽里に沿ふ漢江にて暗礁に乘り揚げアナヤと云ふ間もなく同人妻みか(三五)及び長女よしゑ(三)の兩名は河中に墜落し行衛不明となりたりと

●外人の浴場計畫

仁川居留の外人ヒルップ氏は濱町に日淸人及外國人の大々的浴場を新築する由なるが各國人の浴槽を各々別室にし之れに文明的設備を施すの計畫なりと云ふ

●橫領事件の其後

仁川製鋼所紛擾に就ては前號にて報道せしが其後

市井雜聞

●浪人 大坂市西區中立町小林要太郎(四)は清韓兩國語に通ずる前科數犯の曲物去十三日浮浪罪にて西部署に拘留

●枕探 北部三淸洞居玄東轸(三〇)は去一月三日齋知鈴木某の就眠中懐中物を竊取逃走中十二日南部署の手に捕はる

●感心 長崎縣生久田ちぐ(十九)は情夫の急を救はん爲め中之新地第一金水樓の酌婦となる事尤のが大和町のれ役人

●喧嘩 京城黄金町大工藤川昇(三六)外三名酩酊の結果東部松阪住八夫曾興文(二七)を毆打し韓洞分遣所にて說諭放還

●變死 光熙門外南筏院松林中に年齡六十五位の韓人縊死を遂げ居たるを發見せしが原因は自活の途に窮せし爲か

●狂犬 開城城架里橋本爲藏方畜犬狂病に罹り本月五日日人一名咬傷せしより直に撲殺被害者は大韓病院に入院す

●仁川雜事 仁川署小使柳敬五は一昨日本町通りにて鳥打帽を拾得其筋に屆出づ▲仁川敷島遊郭に於ける節句の娼客數は卅六名にして揚高は百四十五圓六十九錢なりと

目と耳

▲京城座●●● 十四日代り狂言は「縮屋殺し」全九場にて重なる役割は左の如し 魚屋(今井)兵士(花井)小使(千葉)婆々、利長山形(川崎)れ高(金澤)れ清(桂木)れ梅(田中)刑事山村(高山)駒吉(高島)書記(樹)政村(淨田)花澤(興部)れ住(小西)書生木下(秋岡)れ元(三好)縮尾主人(瀬川)

▲女中入用 希望の方は本社内高木宛に來談あれ

今日の運勢

四月十四日舊三月四日 四綠 赤口 巳 酉 執

●一白 紛紜葛藤起り易き日なり他は大抵吉△●二黒 己れを勞して人を益するの日とす保證受印仲裁仲介等尤も凶新事見合せの事△●三碧 常事事務に付きては都合よき日とす新事は控へ目にすべし火の元の用意怠る勿れ△●四綠 萬事伸びさる事多し新事及變更の事凶旅行舟出を禁ず△●五黄 賣買貸借齟齬を生じ易し近親若くは家庭の事に煩累あらん△●六白 共同連盟會見依頼に良好色情盜失の難を防ぐべし△●七赤 背離に傾き易き日とす新事及共同連盟婚姻養子の事に凶修理修繕には良好△●八白 部下目下の者より煩累わらん尙新事及變更の事凶△●九紫 改革整理模樣方針替に良好證劵印章の事注意すべし

●天氣豫報 自十三日午後六時至十四日午後六時(三一館判斷)

南西の風晴

廣告

美術半襟帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九

ゑり德商店

木材賣却廣告

一 鴨綠江松材現木

長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄

右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候

京城旭町三丁目

建築業 柴田芝六

電話五百六十八番

電話一一八二番

やちよ

金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應じ貨物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

京城 旭町

大槻商行質部

流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

入院 隨意

內 外科

小兒 病

梅毒淋病

京城壽町三丁目

高井醫院

電話(二一六)

院長 陸軍軍醫正 高井貞治

弦齋流割烹

歌舞伎辨當

材料の豐富と技倆の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候

京城南山町二丁目

すゞ 津

(電話一五〇二番)

出前の儀は電話又は一報次第即刻持參可仕申候

三一館

京城本町五丁目

易斷觀相敎授

館主 土御門派大陰陽師

飽迄志多年錬磨 …

入院隨意

中島醫院

京城壽町三丁目(電話三七八番)

院主 醫學得業士 中島貞信

胃腸新藥

タカヂアスターゼ

韓國總代理店

仁川本町二丁目 電話八五〇番

竹田津三平

米 東京火災運送海上保險株式會社

明治廿年七月創立 ● 資本金一千萬圓 ●

京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番

事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

金魚各種

卸小賣

陸軍御用達

龍山山下町二丁目(兵器支廠官舍入口)

馬木勇吉本店

電話三六四番

茶器商

京城本町五丁目一番戶角

馬木勇吉支店

電話四七一番

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

諸官衙御用

播本(ハリモト)商店

京城本町六丁目 電話百拾番

諸官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣

東京 ランバード商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
京城 鹽谷合資會社食鹽特約

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)

出張所 東京十番 京地電 南新橋 鍋町三丁目 一九六二

神戶資生分院

京城梅毒病院

京城相生町(南門湯横)

◎花柳病專門並 痔(注射療法)

●入院隨意●

(電話一二九四)

院長 醫學得業士 瀧田鉾平

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり

一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん脇胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他內用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

京城本町一丁目郵便局前

貸席 鐵冷温泉

電話千四百十一番

官許

篠原劑(しのはらざい) 外用塗擦

一名篠原不死劑

前代未聞不死の秘藥

論より證據實驗して御覽なさい

ドンな病氣でも癒る

定價

一拾回 塗擦分入 金壹圓(入五十錢) 郵稅八錢
一貳拾回 同上 金壹圓九拾錢 同上
一五拾回 同上 金四圓五十錢 同上

外に醫家用として百貳拾四分入あり

本劑を患部及び一定の場所に塗附け其處を能く摩擦する時は人體の脂肪と混和して毛管より皮膚に入り血行に伴ふて循環を始め二十四秒時間に全身を一周する故如何なる病氣でも如何なる難症でも治るといふ世にも不思議な靈藥であります就中脊髓病、脚氣、リユーマチス、中風、腦病、神經諸病、心臟病、肺炎肺結核、腎臟病、肝臟病、胃腸病、肛門病、眼病、耳鼻咽喉病、氣管病、生殖器病、子宮病、花柳病、梅毒諸病、諸熱病、癩病、疝氣、婦人諸病、其他火傷、切傷等に特效あり

篠原不死劑の發展 (大村百藏しるす)

發明者篠原政治君は自分と同縣の先輩であります天性發明的頭腦を有し今日までに專賣特許を受けて世に行はれて居る發明品が七種あります去明治三十九年君は脊髓勞に罹り在京諸博士より不治の宣告を受けてから發憤し潛心攻究幾たびか失敗し蹉跌したる末人體組織の大原理と病理學上の新發見たる人間不死の說が初めて君の口を藉つて唱道され之と同時に篠原塗擦劑一名「篠原不死劑」の發明が成效されたのであります君は自己の發明藥たる此塗擦劑を以て前日諸博士から見放れたる不治の難症を癒し再び以前の健康體に復されたのみならず廣く世間の病に惱める人々に提供して百發百中の奇效を示されたのであります昨年來君の靈藥に依つて救はれたる知名の人々を擧ぐれば日英博覽會總裁板垣伯あり大生少將あり山之內鐵道局長令息あり古賀警保局長母堂あり松室大審院檢事母堂あり大木伯爵あり山田貴族院議員あり神崎代議士あり工藤代議士あり福井四日市市長あり九鬼四日市商業會議所會頭あり野口小蘋女史あり俳優中村芝翫あり中村福太郎あり其他一々枚擧に遑あらず(全癒者人名錄は別にあり)

論より證據實驗して御覽なさい

ドンな病氣でも癒る

肺病でも腦痛でも脚氣でも熱病でもリユーマチスでも梅毒でも子宮病でも胃腸病でも火傷でも切傷でも……

本舖 東京 篠原政治

韓國總代理店

韓國龍山朗町

大村百藏

(電話一三〇)

取次店

龍山元町三丁目 橋屋商店
仁川山手町 今戶吉次郎
同 老松町 瀧波鑑佐
龍山本町三丁目 高野直二

(大)(介)(惠)

特約販賣自製

味噌醬油製造元

漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

支那白菜漬
朝鮮菜葉漬

大賣出し

(電話二五一番)

移轉擴張

今般左記へ移轉し從來の業務一層確實且つ迅速を旨とし貴需に應じ可申候

代測仲 書量介

京城本町一丁目(民團役所前)

衛藤事務所

主任 衛藤運

(電話七〇五番)

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候

御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目

原金旅館

(電話一二一五番)

生徒募集

和洋裁縫、造花、盆石、茶の湯、生花、御料理、即席及普通敎授

右親切叮嚀を旨とし敎授致候御山敎成象候方は出敎授仕候

寄宿舍の設備も有之又造花材料も備置申候

龍山老松町六十七番戶 龍山橋通取次 電話二一九番

佐藤セキ

五島チカ

會席御料理

北米倉町 電話千六百二十四番

品川樓

各位の御引立に依り日々繁昌仕候段誠に難有奉存候就ては聊か御眷顧に酬ゆるの方法として今般東京淺草ロックにて有名なる岩壽しの名人を板場に雇入れ候に付き花見御遊山等の御壽し御辨當は至極御手輕にて精々相働き候間何卒御用仰せ付け被下度願上候

移轉廣告

會席御料理

弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增しに隆盛に赴き候就ては從來の家屋にては手狹を感し申候に付左記へ移轉致し大勉强にて料理は十分に吟味致し候間何卒御光來の程伏して奉願上候

京城旭町一丁目(元笠日案吉跡)

葉櫻

電話二七〇番

齒科治療

ドクトル 中村安子

本町六丁目

(稻そば横町)電話一五八三番

京城鐘路の喰物は何んだろー

裁判所前の洋食店 鐘路軒の

松茸めしさ

酒一本付 外和洋料理五品付 一人前六十錢

價が安くて うまくて はらこたまるよ皆さん一度たべてごらんなさい

又 和洋料理和洋食 及 辨當の注文するとすぐ一つでも持つてくる極く便利ですよ

電話壹四二九番 御用有ます

◎宴會御誂の差入も引受ます◎

皮膚梅毒
泌尿生殖科
眼科外科

龍山老橋町

十字病院

(電話三二四)

★株式會社百三十銀行 京城支店

京城本町二丁目十五番地 電話五十八

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、東京、橫濱、大磯、甲府、静岡

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 大聖寺、小濱、福井、敦賀、金澤、宮津

山陰道 米子、境、松江、久手、大田、富山、伏木、新湊、新潟、舞鶴、福岡、鳥取

山陽道 玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁

南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱、牛窓、味野、岩見、岡山、尾鷲、州本、撫養、德島、鶴ヶ岡

西海道 南方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、嘉南

韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、忠州、馬山

清國

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

◇

株式會社十八銀行 京城支店

京城南大門通

(電話四二〇)

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾五萬圓

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市築町

支店 出張所

京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山、大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

韓國日本

其他日本、韓國樞要地、及臺灣浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金

一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢七厘)

長崎貯蓄銀行代理店

(十八銀行京城支店)